

「命を守る」ための 防災教育イラスト
～土砂災害編～

①危険を察知できる

災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：

大雨が降った後、山や川の様子の変化に気が付かないでその場にいると、土砂に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

雨が降っている時やその後に小石が落ちてきたら、崖崩れのまえぶれだよ。

⇒山から小石がパラパラと落ちてきたり、山の斜面から水がわき出ていたりするときは、すぐにその場からはなれよう！



①危険を察知できる
災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：

土砂災害が発生しても自分の家が巻き込まれることはないと思い避難しなかったところ、土砂災害により自宅が土砂に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

地震が起きたり、大雨が降ったりすると自分の家が土砂災害に巻き込まれてしまうことがあるよ！

⇒自分の家や通学路が、危ない場所かどうか調べるのが大事！



②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
自宅の1階にいて、土砂災害に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

山から土砂が流れ込んで1階が埋まってしまうことがあるよ！

⇒心配になったら家族と相談してすぐに避難しよう！でも、外が危なそうなら、家の高いところに逃げて！



②逃げる決断ができる
災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
避難勧告等や気象警報に基づきすぐに避難行動が出来ない。

(子ども向け解説)

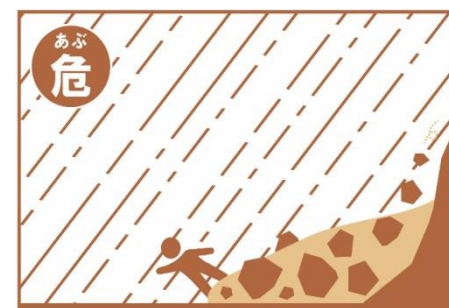
テレビなどから「避難」するように言われていたら早く避難しないと逃げられないよ！
⇒市町村から「ひなんかんこく」のお知らせがあったら、すぐに避難しよう！



④安全な場所まで移動できる
災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
避難中に土砂災害に巻き込まれる。

（子ども向け解説）
避難するときに急な崖の近くを歩くと危ないよ！
⇒避難所や避難する道を家族で話し合おう！



②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（土石流）

解説：

土石流を確認してから逃げようと思ったときには、走っても間に合わなく、土石流に追いつかれる。

（子ども向け解説）

土石流は速いから、見えてから逃げてもすぐに追いつかれるよ。

⇒土石流から逃げるときには、川の流れと同じ方向ではなく、川から離れる方向に逃げよう！



**③適切な避難場所や避難ルートが選択できる
災害の種類：土砂災害（土石流）**

解説：

垂直避難をすれば大丈夫と思い、自宅の2階に避難したところ、自宅の2階に土砂が流れこみ、埋もれる。

（子ども向け解説）

大きな土砂災害は2階まで押し寄せてくることがあるよ！

⇒家から出られなくならないように、早めの避難を心がけよう！

